



会員企業の皆様、  
明けましておめでとうございます。

旧年中はファイネット事業に一方ならぬご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ウクライナ情勢の長期化、金融引き締めや物価上昇の米欧経済への影響、中国経済の回復遅れなど、世界経済の成長減速が予測される中、わが国の酒類・加工食品関連業界においては、物価上昇による影響はあるものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流やインバウンド需要の回復、賃金上昇などを追い風に、市場環境の改善傾向継続が期待されています。

一方、ファイネットではEDIサービスのさらなる普及推進、特に昨年3月に開始したファイナル配信サービスの普及を図りながら、さらに新規サービスの検討を進めるなど、昨年4月にスタートした新たな中期経営計画（2023年度～2025年度）の達成に向けて鋭意取り組んでおります。

ファイネットは2024年も

**「円滑なサービス運営」**

**「顧客満足度の向上」**

**「標準化推進活動を通じた業界貢献」**

の3つの指標を事業目標に掲げ、計画の達成に向けて  
全社一丸となって取り組む所存でございます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

**西井孝明**



# 2023年 ファイネットユーザー会



代表取締役社長  
西井 孝明

一般社団法人  
日本加工食品卸協会  
専務理事  
時岡 肯平 様

代表取締役専務  
久我 章良

常務取締役  
企画部長  
伊東 宏泰

## 2023年 ファイネットユーザー会を開催

2023年10月26日（木）にユーザーのみなさまをお招きして4年ぶりにファイネットユーザー会を東京會館にて開催いたしました。当日は102社、261名と多くのみなさまにご出席いただきました。改めて御礼申し上げます。

第1部は弊社代表取締役社長 西井孝明の挨拶に始まり、続いて代表取締役専務 久我章良が事業方針と取り組み内容について説明いたしました。

ご講演は元東北楽天ゴールデンイーグルス監督の梨田

昌孝様に「自己と組織の育成法:梨田流コミュニケーション術」と題してお話いただきました。

第2部の懇親会では、一般社団法人日本加工食品卸協会専務理事の時岡肯平様に乾杯のご挨拶を頂戴しました。会場ではユーザーのみなさまが和やかに歓談され、最後に弊社常務取締役企画部長 伊東宏泰より中締めのご挨拶を行い、2023年ファイネットユーザー会は盛会のうちに無事お開きとなりました。

# 事業方針と当社取り組み内容について

## EDIサービスについて

### 1. EDIサービスご利用状況

(1) 加入企業数 **2,292**社 内訳 メーカー：**1,594**社 卸：**698**社 (23年9月末時点)

(2) 接続数 **13,848** 接続 (23年9月末時点)

(3) データ件数 **32.1**億件 (22年度)

コロナ禍以降、企業規模・データ種を問わずEDI化の動きが加速

### 2. EDIサービスのさらなる普及推進

(1) 卸11社とファイネット(事務局)が協働してEDI化を推進

折衝数 のべ**721**社 データ化実績**239**関係 新規加入企業**44**社  
(21年3月活動開始～23年9月末時点)

(2) PSTNマイグレーション対応

ユーザー様にご協力いただき、23年11月末までに無事インターネット手順への移行を完了見込  
⇒電話回線の全銀協TCP/IP手順は予定通り23年11月末にサポート終了予定

## ファイル配信サービスについて

業界における帳票授受の共通課題

紙の送付を減らしたい

送付作業を減らしたい

送付コストを削減したい

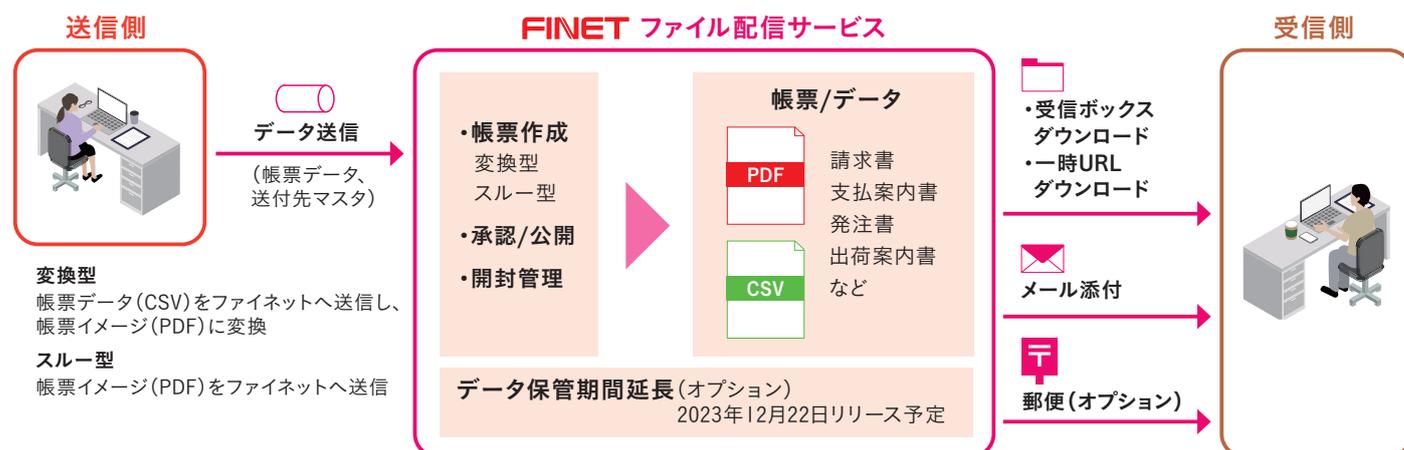
これらの課題を解決するため、23年3月1日にファイル配信サービスをリリースいたしました。  
ファイル配信サービスは共通サービスとして業界全体の効率化を目指しており、  
より多くのユーザー様にご利用されることで双方が電子帳票での受け渡しを一元化できます。

### 1. 導入による効果

送信側	<p>複数企業分の帳票をまとめて送信可能</p> 	<p>紙と送付作業からの脱却 送付時間も短縮</p> <p>Time saving </p>	<p>取引先の確認状況が分かる</p> 
	受信側	<p>1つのIDで複数企業分の帳票をダウンロード可能</p> 	<p>早期受け取りを実現</p> 

## 2. ファイル配信サービスの概要

企業間でやりとりされるあらゆる帳票を電子化し、Webやメールでの授受を実現するサービスです。1通30円からご利用いただけ、帳票データ、送付先マスタはEDIと同じHost送信にも対応しております。送信側よりデータを送信いただくことで、ファイネットにて帳票作成、振り分けを行いません。受信側ではメール添付やメール本文記載URLからのダウンロード、Webサイト受信ボックスからのダウンロードに加え、郵送での受け取りにも対応しており、受信側の意向に合わせた配信が可能です。業界の商慣習にフィットした標準帳票を実装しており、帳票公開に関する承認者設定や開封確認、双方でのメッセージ送受信機能など、業務運用にあわせてご利用いただけます。



## 3. ファイル配信サービスのさらなる普及推進

### (1) ファイル配信サービス紹介動画

効率的に分かりやすくサービス内容をお伝えするためにファイル配信サービス紹介動画を制作  
・・・23年9月1日公開済み

### (2) 新機能のリリース

電子帳簿保存法への対応を主とした新たな機能を追加予定・・・23年12月22日

## ご講演

### タイトル「自己と組織の育成法：梨田流コミュニケーション術」

当日のご講演では、選手・監督を経て環境の変化にどのように対応してきたのか、独自のコミュニケーション術を交えて詳しくご講演いただきました。

1953年島根県生まれ。1972年ドラフト2位で近鉄バファローズに入団。強肩捕手として活躍する一方、独特のスタイルでバッティングのタイミングをとる「コンニャク打法」で人気を博す。現役時代は、リーグ優勝2回を経験し、ベストナイン3回、ゴールデングラブ賞4回を受賞した。1988年に現役引退。2000年に大阪近鉄バファローズの最後の監督に就任。2001年には、前シーズンに最下位だったチームをリーグ優勝へと導いた。2008年から2011年は、北海道日本ハムファイターズの監督としてチームを率い、2009年にリーグ優勝とクライマックスシリーズ優勝を果たす。その後は、NHKのプロ野球解説、日刊スポーツ野球評論家として活躍し、2013年にはWBC 日本代表野手総合コーチを務めた。2016年から2018年まで東北楽天ゴールデンイーグルスの監督としてチームの指揮を執り、2017年シーズンはクライマックスシリーズに進出している。3球団での監督通算成績は、805勝776敗である。



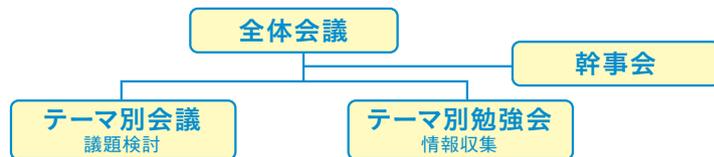
元東北楽天ゴールデンイーグルス監督  
梨田 昌孝様

# ファイネットは「標準化推進活動を通じた業界貢献」に取り組んでいます

ファイネットの3つの経営方針「円滑なサービス運営」「顧客満足度の向上」「業界貢献」の下で酒類・加工食品業界内における存在価値向上、サービスの継続提供に努めております。

業界貢献では、2003年秋に設立した「酒類・加工食品業界標準化推進会議（略称：標準化推進会議）」を中心に、メーカー／卸間の商取引に関わる情報授受の標準化推進活動を続けており、2024年12月には、100回目の会合を予定しています。

## 「酒類・加工食品業界標準化推進会議」の会議構成



- ・メーカー22社/卸8社が参加
- ・標準化全般の検討（他業界、業界団体の情報共有）
- ・検討テーマの選定および方向付け、テーマ別会議の設置判断
- ・テーマ別会議からの検討内容の確認、追認など

目的は、商取引等に関する各種情報交換業務の標準化を推進することにより、業界全体の発展に寄与することです。また、メンバー企業は、原則として、酒類・加工食品業界のメーカーおよび卸であり、業界の先頭集団として積極的に標準化を推進する役割を担っています。

## 酒類・加工食品業界の企業識別（取引先）コード

「標準化」を推進する上で、もっとも基本となるところが「コードの標準化」です。標準化推進会議では、長い時間の検討を経て、下表のようにEDIにて使用する標準コードを決定しました。

	企業識別（取引先）コード	商品識別コード
酒類業界	統一取引先コード	SDPコード（※）
加工食品業界	統一取引先コード	検討中（後述）

※SDPコード：  
主に酒類メーカー／卸間のEDIで使用される  
7桁（メーカーを表す3桁＋商品を表す4桁）の商品識別コード  
Shurui Shokuhin Data Pool（酒類・食品DP）の略

企業識別（取引先）コードは、2013年6月の第57回推進部会（全体会議の前身）にて、酒類・加工食品業界における業界唯一の取引先コードとして「統一取引先コード」を業界の最適化、およびコストの極小化を目指して利用していく、と決議しました。

「統一取引先コード」は、8桁からなる企業識別（取引先）コードで、全国各地の小売店舗をはじめ、メーカー、卸、小売の事業所など約46万件が登録されており、新店開店、移転、閉店などの情報がタイムリーに更新されています。ファイネットの商品流通VANサービスでは、メーカー／卸間において、（一社）日本加工食品卸協会にて定める日食協標準EDIフォーマットを使用したデータ交換を基本としており、日食協標準EDIフォーマットでは企業識別（取引先）コードの標準コードを「統一取引先コード」としております。

「コードの標準化」により、各社それぞれでのコード変換に関わるコスト、延いては業界全体のコスト削減にもつながります。また、物流の諸問題解決や、今後、想定される他の業界企業とのデータ交換においても「コードの標準化」がますます重要となることでしょう。「統一取引先コード」は、ファイネット商品流通VANサービスを利用している企業であれば、どなたでも無料でご利用いただけますので、ご利用をご検討のほど、よろしく申し上げます。

## 酒類・加工食品業界の商品識別コードと直近の主な活動 ～加工食品EDI用商品コード検討部会～

これまで、商品識別コードは、国際標準であるGTIN-13（JANコード）の利用拡大を目指してきました。酒類業界では、GTIN-13（JANコード）よりも古くからSDPコードが普及しており、酒類業界の商品識別コードと認知されていることから、それを酒類業界の標準コードとしました。

一方、加工食品業界においても、同様にGTIN-13（JANコード）の利用拡大を目指してきたものの、標準化推進会議において、EDIにおける標準的なコード（JANコード、JAN+荷姿、集合包装用商品コード（通称ITFコード）、SDPコード）とプライベートコードの利用状況を調査したところ、酒類業界の標準的なコードの利用率が加工食品業界を圧倒し、受発注データでは、酒類業界の94%に対し、加工食品業界は、41%でした。（下表参照）

その要因を検討した結果、酒類業界のSDPコードは、メーカープライベートコードと1対1であり、そのコードにより商品を一意に特定できるからではないかと想定しました。

加工食品業界には、SDPコードのようなコードは存在しません。また、JANコードでは、企画品やパッケージ違いの商品を一意に特定することができないことから、加工食品業界にもメーカープライベートコードと1対1となり、商品を一意に特定することができるコードが必要として、それを検討する会議体「加工食品EDI用商品コード検討部会」を2023年6月に立ち上げました。（2023年11月現在 検討継続中）

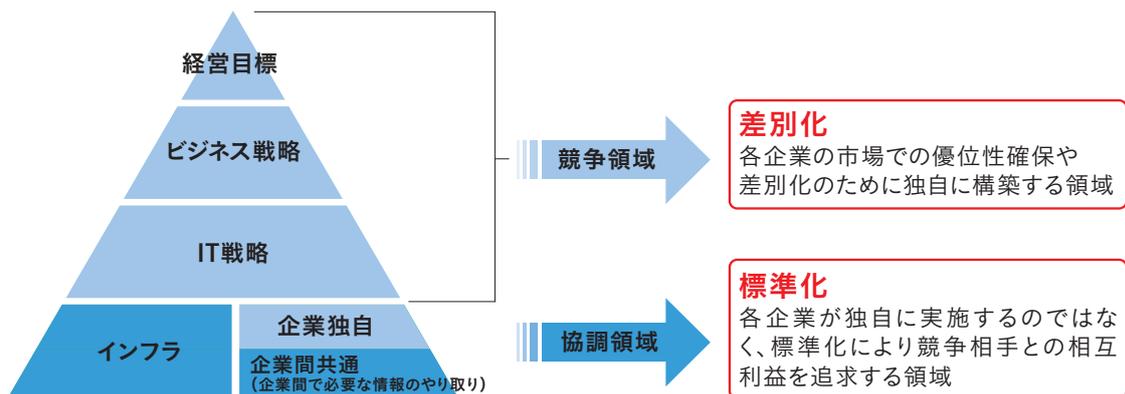
### ■標準的なコードの利用状況

データ種	全体	酒類・ビール メーカーのみ	加工食品 のみ
受発注	52%	94%	41%
出荷案内	41%	90%	30%
販売実績	35%	78%	24%

※2022年度 標準化推進会議メンバー内の調査から

加工食品EDI用商品コード検討部会	
参画	メーカー 8社 / 卸 5社
目的	加工食品業界のEDIにおいて、メーカープライベートコードと1対1となり、商品を一意に特定できる商品コードを模索する。また、メーカーの商品コード改変時、卸への伝達方法も同時に検討する。
検討状況(継続中)	標準コードの選択肢 ①JANコード(GTIN-13) ②JAN+荷姿 ③集合包装用商品コード(GTIN-14 通称:ITFコード) ④SDPコード ⑤新SDPコード(加工食品業界版SDPコード新設) ⑥その他 ※決定方法は、多数決に依らない。最終的にメンバー全員が納得するコードを選択。

## みなさまのための「全体最適」を探求する



上図のように、競争領域は他社と「差別化」するためにあり、各企業独自の戦略となります。一方、協調領域は、他社とともに商取引に関わる情報授受の「標準化」を推進することにより、各企業が独自の投資をすることなく、限られた資源を有効活用でき、最終的にサプライチェーン全体のコストダウンにもつながります。

各企業が独自に進める「社内の標準化」は自社に閉じた世界では「企業内での最適化」となります。一方、IT技術が進歩して取引先企業とのデータ連携が密に行われる現代では、取引先ごとにデータ連携のための個別対応が必要となり、コストや労力がかかります。これでは、「企業内での最適化」が「自社内だけの部分最適」となってしまいます。

それでは、酒類・加工食品業界で「業界の全体最適」をした場合ではどうなるでしょう。  
 メーカー / 卸間における受発注や出荷案内、販売実績などのEDIでは、(一社)日本加工食品卸協会にて定める日食協標準EDIフォーマットを使用することにより、各企業は標準化された仕様に基づいて対応するだけで、個別対応の必要はなくなりました。また、前頁にあるように企業識別(取引先)コードや商品識別コードを標準化することで、各企業の自社コードを標準化されたコードに変換するだけの対応になります。これにより、取引先ごとに個別対応することなく、標準化された仕様のみに対応するだけとなります。

「自社内だけの部分最適」から「業界の全体最適」に向けた取り組みは、企業単独ではなかなか進めることはできません。また、多くの企業が賛同して実践してこそ、全体最適によるメリットを享受できることとなります。

ファイネットは酒類・加工食品業界のみなさまが標準化の議論や実践するための場として、「酒類・加工食品業界標準化推進会議」を開催し運営しています。ファイネットは引き続きみなさまとともに、みなさまにとっての「全体最適」を目指して標準化推進活動に取り組んで参ります。

**「業界の全体最適」は、企業単独では進められない。**  
 だから、課題の解決に向けて業界のメンバーと **議論・課題解決策の決定** が必須。  
 そして、何よりも、決めたことの **実践** が大事。  
 メーカーと卸が対等な立場で集う業界唯一の会議体

**「酒類・加工食品業界標準化推進会議」**

みんなで  
みんなのための  
「全体最適」  
を探求する

「酒類・加工食品業界標準化推進会議」に関するお問い合わせ先  
 事務局(ファイネット 企画部) 【E-mail】[planning@finet.co.jp](mailto:planning@finet.co.jp)  
 「酒類・加工食品業界標準化推進会議」に関する詳細はこちら ▶ <https://www.finet.co.jp/hyojyunka/>

## FINE FINETの送付先等の変更について

ご送付しております「FINE FINET (ファイン・ファイネット)」の宛名や部数の変更等がございましたら「FINE FINET送付先変更(受付)」フォームよりお申し込みください。  
お申し込み完了後、受付完了メールを申請者情報にご登録いただいた宛先に送信いたします。  
なお、お申し込み内容に確認事項がある場合はヘルプデスクより別途ご連絡差し上げます。

「FINE FINET送付先変更(受付)」フォーム

URL <https://member.finet.co.jp/fts/ffSendRequest/recept/>

こちらからも  
アクセスできます



「FINE FINET送付先変更(受付)」フォームへは次の弊社Webサイトからアクセスいただけます。

・昨年9月にリニューアルしましたコーポレートサイトの広報誌「FINE FINET」ページ

URL <https://www.finet.co.jp/finenet/>

最新号掲載欄右下のリンクボタン「冊子版の送付先変更はこちら」

こちら  
から

冊子版の送付先変更はこちら

・「手続きサイト」ログインページ

URL <https://member.finet.co.jp/fts/userLogin/>

画面右下のリンクボタン「FINE FINET送付先変更」

こちら  
から

▼ID再通知  
▼パスワード再発行  
▼FINE FINET送付先変更

FINE FINETは各サービスの利用窓口担当者様宛に送付している場合があります。  
担当者様の変更に伴い送付先も変更になりますので、利用窓口の担当者情報変更や担当者変更につきましては、「手続きサイト」にログインのうえ「各種お申込み」からお申し込みください。

【お問い合わせ先】

ファイネット ヘルプデスク  **0120-091-094** (年中無休7:30~23:00)



**FINE FINET** (ファイン・ファイネット)

Vol.64 2024 January 2024年1月1日発行

[発行](株)ファイネット 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-1 日本橋三丁目スクエア6階

TEL.03-5204-2600 [編集・発行責任者] 久我 章良



FINET

<https://www.finet.co.jp>

